

もやい 30年度 第15回定例会議事録

日 時 : 11月1日(木) 15:00~16:30

場 所 : 市民活動支援センター 交流スペース

出席者 : 田中、大福、石見、添田、廣川、久保田、(欠 植村、浅野、平井、石田)

【1】西武信金助成事業完了について

- ・現在、西武信金の事業支援を受けており、啓蒙用パンフレットは申し越し時間がかかる
よって、助成事業は10月末で締め切り今後はもやいの事業として進める

- ① 助成金事業報告書(所定のフォーマットあり)
写真等準備必要(講習会風景、定例会の風景など)
- ② 地域福祉交通運転者講習会のご案内(チラシ)
- ③ 八王子共生社会推進会議(チラシ)
- ④ 交通事故防止の決め手は「安全確認」(チラシ)
- ⑤ ご近所の外出支援チラシ(A5判、A4判)
- ⑥ ボランティア運転者講習会資料(テキスト)
- ⑦ 訪問助け合い活動(テキスト)
- ⑧ 「ボランティア安全運転者育成事業」報告書(冊子)

【2】WAM 助成金事業」の見直しについて(新規団体に働きかけ)

- ・出前講座の予定を作成

① 絹1ふれあいネット (10月29日勉強会開催)

- ・出席者:
(絹一) 野浦、中嶋、吉田町会長、吉田、高橋、高山
(もやい) 添田、廣川、田中、大福



- ・生活支援事業の開始について(生活支援事業、講習会事業、その他)

【3】30年度第2層協議体委員の選出

- ・資料①参照

【4】WAM 第2回勉強会の開催について

30年度第2層協議体の運営について、服部先生にその考え方などを話して貰う
八王子市、社協、包括などへも働きかける

- ① 日時: 31年1月24日(木) 15:00~17:00
- ② 場所: クリエイトホール(予定)
- ③ テーマ: 第2層協議体の運営、総合事業Dと地域での運営、今後の国の予定など

【5】その他

- ①WAM費用の清算(計画的に使う準備)
- ②数井クリニック・諸星さん(会員)の活動への参加について
- ③送迎支援事業の具体化について 資料②参照
- ④第10回シンポジウム「多様な市民活動とまちづくりー共生社会を考える」(地域ネット)資料③

<次回定例会>

日時: 平成30年11月14(水) 15:00~17:00

場所: 市民活動支援センター 活性化室

以上

資料①

平成30年度 第2層協議体開催日時					(赤字は連絡あり)(青字は提出済)	市民活動協議会	
圏域	社協担当	包括	日にち	時間	場所	対応者	連絡先等
北部		左入	11月28日	14:00~16:00	加住市民センター	石見	
西部		元八王子	11月29日	14:00~16:00	もとはち市民センター	添田	
		もとはち南					
		川口	2月開催予定	未定	川口事務所		
西南部		恩方	11月or12月	未定	包括恩方会議室		
		めじろ	12月開催予定	未定	未定	田中	
		寺田	12月開催予定	未定	未定	田中	
		高尾	3月開催予定	未定	包括高尾会議室		
中央	山下	長房	12月4日	14:00~16:00	長房ふれあい館	大福	
		旭町	12月12日	14:00~16:00	クワイエットホール(11F 第7学習室)	大福	
		中野	12月6日	14:00~16:00	中野市民センター		(未定)
		子安	11月or12月	未定		植村	
東南部	立川	大横	12月10日	14:00~16:00	大横保健福祉センター 第4・5会議室		
		長沼				廣川	
東部	青山	片倉				廣川	
		南大沢 堀之内	11月30日	14:00~16:00	南大沢市民センター	久保田	

もやいの新しい取り組み（移動支援の事業化）

八王子共生社会推進会議

【1】移動支援への取り組み方針

現在、各地域で移動支援に取り組んでいる団体は事業化を計画はしているが、現実問題としてその具体化は環境が整備されておらず、厳しい状況にあると考えられる。

もやいの現在の支援活動をさらに発展させ、八王子市でのモデル事業としての可能性を考える。

【2】事業計画

① 活動拠点の整備

活動拠点として当面「移動支援相談室」を利用し、運営する

② 拠点の運営費等

拠点運営資金を調達するため、八王子市に生活支援団体としての登録を行う(補助金申請)

もし、車両を入手できれば、専用の駐車場を確保する

車両手配等のコーディネート作業は拠点で行う

③事業展開の根回し

・社会福祉協議会に事業具体化の相談をする(9月中)

・八王子市・高齢者福祉課に事業展開の説明を行い、理解を求める

・協議会・地域ネットへの協力を求める

④事業の展開

もやいの当面の事業には支援事業(実業)は含まれていないため、新しい部門を作るか、新しい団体を作って対応する。

移動支援事業はネットワークを構築し運営することが望ましく、将来事業のフランチャイズ化なども検討する。(31年度の事業展開をWAM事業と組み合わせ、体制の整備を進める)

⑤活動員の確保

・会員募集にさらに力を入れ、活動員を増やす

・個人対象講習会修了者を積極的に受け入れ、人材を確保する

・社協が実施する生活支援担い手研修とも連携し、その修了者も受け入れる

⑤事業の発展性

将来は福祉有償事業へと発展させ、この事業へ関与することにより、有償ボランティアを増やし、雇用機会を増やす。(シニア雇用支援事業)

以上

第 10 回 共助のまちづくりシンポジウム

～市民力・地域力、多様性を認め合う幅広い連携を～

多様性を理解した
幅広い連携

まちづくり施策
として具体化

「多様な市民活動とまちづくりー共生社会を考える」

日程:12月2日(日) 13:30 ~ 16:30 (13時受付開始)

会場:八王子労政会館ホール

【交流会】シンポジウム終了後労政会館 1F・食堂で開催(参加費 1人 500円)

このシンポジウムでは高齢化、少子化、人口減少といった社会の変化を受け止め、町会・自治会や市民団体の活動、地域の事業者、福祉・医療関係者や大学機関そして行政がそれぞれの役割を考え、八王子のコミュニティ・街づくりすなわち「共助のまちづくり」を議論してきました。

第10回共助のまちづくりシンポジウムのテーマは「多様な市民活動とまちづくりー共生社会を考える」とし、地域で活動する様々な団体を紹介し、まちづくり施策を考えます。

■パネラー 東京都生活協同組合連合会 八王子市社会福祉協議会
八王子ワークセンター 里親ひろば・ほいっぷ

■主催(共催)

一般社団法人八王子自治研センター、特定非営利活動法人八王子市民活動協議会

■後援 八王子市(市民活動推進部)、社会福祉法人八王子市社会福祉協議会

■参加呼びかけ団体

町会・自治会連合会、民生委員児童委員協議会、八王子商工会議所、
シルバー人材センター、大学コンソーシアム八王子、八王子市医師会、
連合南多摩地区協議会、八王子介護保険サービス事業者連絡協議会、
八王子介護支援専門員連絡協議会、他